



教育目標：自立 敬愛 精励
ようがの学び舎 舎訓 責任 信頼



用賀中だより

～生徒が主人公である学校、地域と共に歩む学校～

学校だより5月号 令和7年5月吉日

ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校

校長 毛利 慎治

(PDFでも読みやすくなるよう、レイアウトを試行しています)

「主役は君だ！」のスタート

～一人ひとりが輝く運動会に向けて～

校長 毛利 慎治

新年度が始まり、あっという間に1か月が過ぎました。ゴールデンウィークも明け、学校には穏やかで落ち着いた空気が流れています。生徒たちは、新しいクラスや先生、友人との関わりの中で少しずつ安心感を深め、それぞれのペースで学校生活を過ごしています。

朝のあいさつ、教室でのやりとり、授業へ向かう表情——その一つひとつから、用賀中の生徒たちの“丁寧に過ごそうとする姿勢”が伝わってきます。私自身、校内を巡回する中でふと足を止めたくなる場面がいくつもあります。たとえば読書の時間。教室では静かに本を開き、集中して読んでいる生徒たちの姿があります。どの学年でも同じように、1年生から3年生までが落ち着いた雰囲気の中で、静かにページをめくるその光景は、日常の中にある小さな感動のひとつです。

こうした何気ない時間が、子どもたちにとって大切な「心を整える時間」になっているのだと実感しています。家庭や地域の皆さまに温かく支えていただきながら、生徒たちは確かに成長しています。

そんな中、用賀中学校ではいよいよ本校最大の行事の一つ、運動会の準備が本格的に始まりました。

今年のスローガンも、生徒たちが自分たちで話し合い、決定したものです。

「青春友勝 ～主役は君だ!!～」

この言葉には、「仲間とともに勝つ」という意味と、「一人ひとりが輝く存在である」という強い思いが込められています。「勝ち負け」だけを追うのではなく、友だちと協力し、支え合いながら目標に向かって努力する。その過程にこそ価値があるというメッセージが、言葉に表れています。

特に「主役は君だ!!」という言葉からは、生徒たちが「自分にもできることがある」「自分も運動会の一員として関わっている」という自覚と誇りをもって取り組もうとしていることが伝わってきます。

実際に、準備が進む中で、生徒たちはそれぞれの係活動やクラスの取組を通じて、自分の役割を理解し、どう行動すればチーム全体がうまくまわるのかを考え始めています。競技に出ることだけが活躍ではありません。応援や放送、記録、用具の管理、進行の補助など、裏方として支える役割も大切です。どの立場にも意味があり、それぞれの力が合わさって初めて、運動会という舞台が完成します。

この「みんなでつくる」という経験の中で、生徒たちは日々、少しずつ成長しています。

4月の全校朝礼でも生徒に伝えましたが、今年度本校は、教育研究の中核テーマとして「非認知能力の育成」を掲げています。これはテストの点数や成績には見えにくい、でも将来を生きていく上でとても大切な力——「人としての土台」とも言える力を育てることを目指した取組です。

この非認知能力には、自分の気持ちをコントロールする力、他者と協力する力、自分の考えを伝える力、最後までやりぬく力などが含まれます。そして、そうした力は、特別な場面だけで育つものではありません。運動会のような行事の中で、友人と意見がぶつかったり、うまくいかずに悩んだりしながらも、自分なりに工夫し、挑戦し続けるプロセスそのものが、非認知能力を育てていくのです。

また本校では、毎月のふり返し活動として「マンスリーキャリアシート」を活用しています。5月のテーマは「運動会での自分」。本番が終わったあと、生徒一人ひとりが「自分はどんなふうに関わったか」「どんな力を出せたか」「何が課題だったか」をふり返し、自分自身の言葉で整理していきます。

こうした「自分を見つめる時間」が、子どもたちの主体性と自己肯定感を高め、次の挑戦へのエネルギーになります。

保護者の皆様には、ぜひご家庭でもお子さまとの会話の中で、「どんなことをしているの?」「準備はどう?」といった何気ない問いかけをしていただければと思います。子どもたちは、自分のがんばりを受けとめてもらえることで、「自分もしっかりと役に立っている」という手ごたえを感じ、さらに前向きに取り組むようになります。

「主役は君だ!」のスローガンの通り、生徒たちは今、それぞれの場所で主役としての役割を果たそうとしています。その姿を見てみると、行事の目的は「成功」だけではなく、「成長」にあるのだと改めて感じます。

本番は5月17日(土)。子どもたちの一生懸命な姿を、どうぞ楽しみにしててください。

「非認知能力」を研究していきます

自己肯定感

コミュニケーション力

主体性

自己管理能力

セルフ・コントロール

今、何をのぼそう、どうのぼそう！？

巻頭文にありますとおり、いま用賀中学校では「非認知能力の育成」を全校体制で研究しています。どの教科でも上記のような力の伸長を意識させ、自ら伸びや伸びしろを感じる「メタ認知力」も育てていきます。これにはご家庭の「今日どうだった？」の日頃の声かけや価値づけも大きな力となりますので、今後も協働をしていただけますよう、よろしく願いいたします。

キャリア学習を習慣化しています

「キャリア学習」として、今の歩みを自身で確認するため「マンスリー・キャリア」という取り組みを始めています。月に1回、その月のテーマに沿って自身を振り返り、言葉にする活動です。

4月のテーマは「昨年度の自分、今の自分」です。生徒の振り返りを紹介いたします。

昨年度と比べて今の自分は勉強と部活どちらもがんばることができています。これから先輩となる自分が後輩から「頼られる先輩」と思われるようにこれからどちらもベストの成績を取り続けられるようにがんばりたいです。

昨年度の自分は、昼近くまで時間を無駄にしていることがあったけれど、小間の自分がんばって早く起きたり、いろいろなことをして時間を有効に使えるようになったりして、得をした気分になれている。

昨年度はむりやり目標を立てていたけれど、今は自分から本当の目標を立てることができるようになった。将来について考えることが多くなり、本などで勉強するようになった。またやりたいことを決めて、どうすればそれを実行できるのかを考えられるようになった。

私は昨年度、一度も委員会やまとめ役などに手を挙げたことがなかった。なぜなら失敗するのが怖かったからだ。しかし今年度は先生や友達の応援のおかげで、挑戦したいと思うようになり、委員会に立候補するようになった。これは自分にとって大きな成長だと思う。そのためこれからもこの挑戦心を忘れずに様々なことに積極的に取り組みながらも、今ある仕事に責任を持っていきたいと思う。

昨年度は今未来手帳を活用することが少なかった。それにより、忘れ物などが多くなり、しっかりと授業に取り組みづらかった。そのため、今の自分は今未来手帳を積極的に使うよう心がけている。これからはより使い方を工夫して学校生活に臨んでいき、後悔がないようにしたい。

おはようコミュニケーション

5月7、8日（水、木）朝に、ようがの学び舎おはようコミュニケーションを行いました。代表の生徒が門の前に立ち、連休明けの学校に明るさと元気を与えました。上記の非認知能力でいう、「主体性」や「コミュニケーション力」を高めました。

学び舎小学校として、今回は日程の合う京西小学校へも向かわせていただき、あいさつを交わしました。写真で紹介いたします。



各校の方針や課題、これから活動したいことなどをそれぞれに紹介し、そのあとには「ようがの学び舎のキャラクター」として昨年度アイディアを寄せ合ったものを活用して、何かできないか・・・と、知恵を寄せ合いました。「名前やプロフィールを決めたい」「イラストを校内いろいろなところに貼りたい」「着ぐるみができたらいいな」「誕生日を決めて、誕生会を開きたい」など、ユニークなアイディアがたくさん出ました。これには中学生生徒会役員も嬉しいながらたじたじで、「みなさんたくさんアイディアありがとう。あとは私達で考えをまとめますね。」と答え、集合写真を撮って解散となりました。

学び舎協議会

4月16日(水)に、ようがの学び舎(京西小学校、用賀小学校、用賀中学校)と地域関係者にも集まっていたいただき、「学び舎協議会」を開催いたしました。

各校自己紹介をして面識を深め、区教育委員会より指導主事より令和7年度の世田谷の教育について説明をしていただきました。

ようがの学び舎の町ぐるみで、意識や取り組みを共有していただければありがたい限りです。



学び舎生徒会

5月8日(木)放課後には、ようがの学び舎3校の生徒会役員が本校に集いました。

アイスブレイク(緊張ほぐし)として3校合同チームをいくつか作り、チームごとに「お題の絵」を一人ずつ順番に描き加えて完成させる活動を行いました。笑顔が一瞬で広がる時間となりました。



印象に残ったのは、3校いずれも「ようがの町をよりよくしたい」と語っていたことでした。またその言葉に皆がうなずいて、同意を示していました。若い力が町をよりよく元気になりたいと思っている、この気持ちを町の中の学校として、より大きく育てていきたいと思います。保護者・地域のみなさまも、ようがの町子どもたちを温かく見守り育てていただければありがたい限りです。

感想など↓

<5月の主な予定>

2日(金)生徒総会
7,8日 おはコミ(挨拶運動)
14日(水)運動会予行
17日(土)運動会
19日(月)振替休業日
27日(火)全校朝礼



用賀中HPも、随時更新しています。
ご確認ください。→

